

モスクワ日本人学校の春夏

モスクワ日本人学校
黒瀬 格

モスクワ日本人学校には、9月12日現在小学部・中学部合わせて120名の児童生徒が在籍しています。校舎はイタリアン校、フィンランド校、スウェーデン校と合同で使用しており、サッカー等のスポーツ交流も行っています。

日本の教育課程以外に、小中全学年でロシア語の授業が行われており、現地採用の講師の指導のもと、ロシア語の元気な歌声があちらこちらから聞こえてきます。

モスクワに赴任して5か月、モスクワ日本人学校の行事を中心にレポートします。



星出宇宙飛行士講演会

モスクワに訓練に来られた星出宇宙飛行士から、貴重なお話を聞くことができました。

モスクワ近郊の「星の町」と呼ばれるところに宇宙飛行士の訓練センターがあり、後日職員研修として訪れました。「星の町」の詳細は、また後日レポートします。



全校写生大会(コロームスコエ)

初夏の風物詩トーポリの綿毛が幻想的に舞う中、ユネスコ世界遺産に登録されている「主の昇天教会(ヴォズネセーニエ教会)」やその周辺の歴史的な建物をしっかりと見つめ、それぞれに構図を工夫しながら、写生を楽しみました。



中学部修学旅行(ポーランド)

本年度の中学部の修学旅行先は、ポーランドでした。修学旅行には、中学部1年生から3年生まで全員が参加します。首都ワルシャワでは、現地の日本人学校の生徒と交流しました。クラクフではアウシュビッツ強制収容所跡を訪れ、戦争の一端を知ることができました。どんな文献よりも、実物の資料は強烈なメッセージを子どもたちに伝えてくれました。



運動会

真っ青なモスクワ晴れの空の下、緑の芝生の上での最高に気持ちの良い運動会となりました。

プログラムには、ロシアのフォークダンス「コロブチカ」があり、児童生徒のみならず、教職員、保護者も参加します。大きな輪を作り、親子や夫婦で手を取り合い、和気あいあいと踊るほほえましい姿が印象的でした。



小学部修学旅行(ウラジーミル、スーズダリ)

小学部では、5・6年生が2泊3日で修学旅行に行きます。総合的な学習の時間に調べた、ロシアの歴史的な建造物を中心に見学しました。

大都会モスクワから離れ、広大な草原を眺めながら、多民族の侵略から街を守りつつ、独自の文化を築いたロシアの先陣たちに思いを馳せました。

小学部体験学習 いちご狩り

(ソフホーズ・レーニン)

モスクワ郊外のイチゴ農園で、イチゴの収穫を体験しました。子どもたちは、収穫の1割を報酬としていただき、家庭に持ち帰りました。

当日は地元TV局の取材も受けました。

水泳教室 (オリンピック村プール)

学校にプールはありませんが、オリンピック村プールを借りて4日間の水泳教室が行われました。中学部の生徒が泳ぐのは高飛び込み用のプールで、水深が6mもありますが、ロシア人コーチの専門的な指導の下、毎日2時間の練習で泳力を高めました。